

令和2年7月30日
S I P 総括担当

戦略的イノベーション創造プログラム（S I P） S I P 第1期追跡調査の実施方針について

1. 目的

各課題における成果の社会実装の状況を調査し、成功事例を積極的に対外的にアピールするとともに、社会実装の実現に向けてプログラム実施期間中から取り組むべき課題等を洗い出し、S I Pの制度や課題の運営に反映することを目的とする。

2. 調査概要

- ・ S I P 第1期 11 課題の研究責任者、研究実施者等（1,000 名程度）に対して、アンケート等調査を実施。

<調査対象とする課題名(11 課題)>

- ① 革新的燃焼技術
- ② 次世代パワーエレクトロニクス
- ③ 革新的構造材料
- ④ エネルギーキャリア
- ⑤ 次世代海洋資源調査技術
- ⑥ 自動走行システム
- ⑦ インフラ維持管理・更新・マネジメント技術
- ⑧ レジリエントな防災・減災機能の強化
- ⑨ 重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保
- ⑩ 次世代農林水産業創造技術
- ⑪ 革新的設計生産技術

<アンケート項目>

- ① S I P 終了後、引き続き研究開発を実施している案件・上市見込み時期等
- ② 既に実用化・事業化している案件・理由等

- ③ S I P 終了に伴い研究開発が終了した案件についてはその理由等
 - ④ 特許・論文等の取得状況
 - ⑤ その他必要な事項
-
- ・ 追跡すべき有望な事例を選定し、詳細を深掘りするためにS I P 第 1 期 11 課題の研究責任者、研究実施者等（計 2 0 名程度）に対して、ヒアリング調査を実施（サイバーセキュリティはPDヒアリングも実施）。

4. 進め方等

- ・ S I P 委託事業として実施し、年度内に報告書を取りまとめ、ガバニングボードに報告する（予定）。
- ・ 令和 4 年度に予定の追跡評価の基礎資料とする。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による、研究責任者・研究実施者等の業務負担増を考慮し、アンケート調査項目はできる限り簡素なものとする。また、ヒアリング調査もWEB会議システムを積極的に活用する。

以 上